

1. 科目名 (単位数)	学級経営学特論 (2単位)	3. 科目番号	EDMP5345
2. 授業担当教員	大島 聡		
4. 授業形態	講義及び演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	日本の学級集団の特性と、児童生徒個々の学習を促進する学級集団の構造とそのメカニズム、教育力の高い学級集団を育成するための教師のリーダーシップについての理論と方法、学級集団の状態をアセスメントする方法を学ぶ。同時に、学級がうまく機能しない状況に至る学級集団の状態の変化について理解し、その対応の方針について、教員組織のチーム連携や保護者との対応を含めて学ぶ。本講義では、学級経営の全体像を整理して捉えるための理論、アセスメントの具体的な方法、グループアプローチの展開の仕方、学級集団形成と学習指導・生徒指導を折り返した対応の在り方、チーム援助の進め方、保護者対応の進め方について、事例研究、ワークショップ、シュミレーション、ロールプレイングの手法を取り入れながら、学習する機会を提供する。また、学生同士が相互交流できる場を多く設定し、学習活動を促進していきたい。		
8. 学習目標	心を豊かにする学年学級経営に関する下記について探究する。 ① 日本の学級集団の特性や学級経営のための基本的な知識を知る。 ② 教育力の高い学級集団を育成するための教師のリーダーシップについての理論と方法を知る。 ③ 学級集団をアセスメントする方法を知る。 ④ 学級集団アセスメントに基づいた対応策を考えることができる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	現在の学校教育が抱える学級経営上の今日的課題を取り上げ、その対応策について、講義で学んだことをふまえて述べよ。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 河村茂雄『日本の学級集団と学級経営—集団の教育力を生かす学校システムの原理と展望—』 図書文化社 【参考文献】 河村茂雄『生徒指導の理論と実際—改訂版—』 図書文化社 代表 高橋哲夫『生徒指導の研究 第三班』 教育出版 文部科学省『学習指導要領解説 総則編』 文部科学省『生徒指導提要』		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 成績の評価は、学習目標の実現度、講義でのディスカッション参加の度合、レポート (小論文) の結果によって決める。 ○評定の方法 2. 院生としての基準に満たないレポートは、基準を満たすまで書き直しを求める。 ○評定の方法 ・学習目標の実現度 60% ・授業への参加度 20% ・レポート 20%		
12. 受講生へのメッセージ	学校においては、児童生徒の健全育成が重要な課題であり、日々の学級経営がその重要な役割を担っています。子ども一人一人の意欲や自己教育力の育成を図りながら「生きる力」をはぐくむための、学級経営の在り方を大いに探究して欲しいです。		
13. オフィスアワー	別途連絡する。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	日本の学校教育の特性		
	【学習の目標】 日本の学校教育の特性について探究する 【学習の内容】 世界の学校 日本と英米の学級集団の特性の違い 日米の教師の仕事の違い 【キーワード】 世界の学校 日本と英米の学級集団の特性の違い アメリカの教師の仕事 日本の教師の仕事 機能体と共同体 【学習の課題】 日本の学校教育の特性について理解する 【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第1章 【学習する上での留意点】 日本と世界の学校教育の特性の相違		
2. テーマ	学級集団成立の歴史		
	【学習の目標】 学級集団成立の歴史について探究する 【学習の内容】 英米の学級集団制度の成り立ち 日本の近代学校制度の成り立ち 戦争による日本の学級集団の変容 【キーワード】 モニトリアル・システム ギャラリー方式 学制 教育勅語 戦争による日本の学級集団の変容 【学習の課題】 学級集団成立の歴史について理解する 【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第2章 【学習する上での留意点】 学級集団における共同体と機能体という特性		
3. テーマ	日本の学級集団の特性に影響を与える学習指導要領の変遷		
	【学習の目標】 日本の学級集団の特性に影響を与える学習指導要領の変遷について探究する 【学習の内容】 学習指導要領の変遷の概略 学級経営を考える上での問題 【キーワード】 経験主義的学習 系統主義的学習 生きる力 国際学力テスト 学級経営を考える上での問題 【学習の課題】 日本の学級集団の特性に影響を与える学習指導要領の変遷について理解する 【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第3章 【学習する上での留意点】 系統主義的な学習と経験主義的な学習の協調のされ方		
4. テーマ	学級集団のアセスメントの方法—QU尺度を用いて—		
	【学習の目標】 学級集団のアセスメントの方法について探究する 【学習の内容】 学級集団アセスメント QUについて QUに基づいた学級経営の方針		

	<p>【キーワード】学級集団アセスメント 面接法 観察法 QU 学級満足度 学級集団の型 学級崩壊 アセスメントに基づく対応策</p> <p>【学習の課題】学級集団のアセスメントの方法について理解する</p> <p>【参考文献】 『QUとは』(自作資料)</p> <p>【学習する上での留意点】教師の指導行動と学級集団とのマッチング</p>
5. テーマ	日本の学級集団の実態—集団の状態と教育の成果—
	<p>【学習の目標】日本の学級集団の実態について探究する</p> <p>【学習の内容】1学級の児童生徒数と学力の定着度、いじめの発生率の関係 学級集団の状態別の教育成果の検討</p> <p>【キーワード】学級集団の状態 ルール リレーション 望ましい学級集団 学級集団発達 学級状態別の教育成果 いじめ発生率</p> <p>【学習の課題】日本の学級集団の実態について理解する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第4章</p> <p>【学習する上での留意点】学級集団の状態と様々な教育効果の関連</p>
6. テーマ	日本型の学級集団のメカニズム
	<p>【学習の目標】日本型の学級集団のメカニズムについて探究する</p> <p>【学習の内容】日本型の理想の学級集団の構造 理想の学級集団を形成する教師の具体的な対応</p> <p>【キーワード】日本型の理想の学級集団の構造 学級集団発達過程 愛他性 集団斉一性 集団凝集性 集団圧 集団同一視</p> <p>【学習の課題】日本型の学級集団のメカニズムについて理解する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第5章</p> <p>【学習する上での留意点】日本の教師たちが望ましいと考える学級集団</p>
7. テーマ	教育現場の学級問題への対処の現状
	<p>【学習の目標】教育現場の学級問題への対処の現状について探究する</p> <p>【学習の内容】日本型学級集団に準じたさまざまな教育集団 大学の新しい取組み・学校化</p> <p>【キーワード】適応指導教室 単位制高等学校 学級編成 少人数学級 TT 大学生に対する心理教育的援助</p> <p>【学習の課題】教育現場の学級問題への対処の現状について理解する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第6章</p> <p>【学習する上での留意点】日本型の学級集団制度の問題点についておさえる</p>
8. テーマ	現状の日本のガイダンス機能を補う取組み
	<p>【学習の目標】現状の日本のガイダンス機能を補う取組みについて探究する</p> <p>【学習の内容】日本のスクールカウンセラー制度を考える 日本の特別支援教育について考える 教師の精神衛生の実態</p> <p>【キーワード】日本のスクールカウンセラー制度 日本の特別支援教育 教師の精神衛生</p> <p>【学習の課題】現状の日本のガイダンス機能を補う取組みについて理解する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第7章</p> <p>【学習する上での留意点】通常学級における特別支援教育の推進の問題</p>
9. テーマ	近年の日本型学級集団形成のむずかしさ
	<p>【学習の目標】近年の日本型学級集団形成のむずかしさについて探究する</p> <p>【学習の内容】現代の子どもたちの実態 現状の学級集団の実態から見る日本の学校教育の問題点</p> <p>【キーワード】現代の子どもたちの実態 教師の支援の必要レベル 日本の学校教育の問題点 ゆとり教育</p> <p>【学習の課題】近年の日本型学級集団形成のむずかしさについて理解する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第8章</p> <p>【学習する上での留意点】学級集団の状態を左右する集団斉一性、集団同一視</p>
10. テーマ	日本の学校教育のガイダンス機能についての再考
	<p>【学習の目標】日本の学校教育のガイダンス機能について探究する</p> <p>【学習の内容】過去の日本のガイダンスの問題点 日本型の学級集団制度のもとでのガイダンス機能とは</p> <p>【キーワード】ガイダンス機能 教師のイラショナルビリーフ 教員養成課程の問題点 3つの援助レベル</p> <p>【学習の課題】日本の学校教育のガイダンス機能について理解する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第9章</p> <p>【学習する上での留意点】日本の生徒指導の概念をおさえる</p>
11. テーマ	グループアプローチと学級経営
	<p>【学習の目標】グループアプローチと学級経営について探究する</p> <p>【学習の内容】グループアプローチとは グループアプローチの考え方を生かした学級経営の実践事例</p> <p>【キーワード】グループアプローチ 構成的グループエンカウンター リレーション スクールモラール</p> <p>【学習の課題】グループアプローチと学級経営について理解する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第10章</p> <p>【学習する上での留意点】子どもたちの心理社会的な発達の促進につながるグループアプローチ</p>
12. テーマ	不登校の現状、理解と対応
	<p>【学習の目標】不登校の現状、理解と対応について探究する</p> <p>【学習の内容】不登校の現状 不登校への対応</p> <p>【キーワード】不登校の現状 不登校の定義 不登校児童生徒数とその原因 不登校への対応の視点 予防・開発的な発達援助</p> <p>【学習の課題】不登校の現状、理解と対応について探究する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『生徒指導の理論と実際』</p> <p>【学習する上での留意点】不登校の現状を把握し、理解と対応について具体的に考える</p>
13. テーマ	いじめの現状、理解と対応
	<p>【学習の目標】いじめの現状、理解と対応について探究する</p>

<p>【学習の内容】 いじめの全般的動向 いじめの実態調査 いじめへの対応</p> <p>【キーワード】 いじめの現状 いじめの定義 いじめの認知件数とその原因 いじめへの対応の視点 予防・開発的な発達援助</p> <p>【学習の課題】 いじめの現状、理解と対応について理解する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『生徒指導の理論と実際』</p> <p>【学習する上での留意点】 いじめの現状を把握し、理解と対応について具体的に考える</p>	
14. テーマ	日本の教師のリーダーシップ行動
<p>【学習の目標】 日本の教師のリーダーシップ行動について探究する</p> <p>【学習の内容】 教師の代表的なリーダーシップスタイル 共同体と機能体の特性を両立させるむずかしさと管理的な教師</p> <p>【キーワード】 リーダーシップの代表的な要件 PM理論 P機能 M機能 勢力資源 管理的な教師</p> <p>【学習の課題】 日本の教師のリーダーシップ行動について理解する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』第11章</p> <p>【学習する上での留意点】 日本の学級集団で求められる教師の指導行動のあり方</p>	
15. テーマ	これからの学級経営の在り方について考える
<p>【学習の目標】 これからの学級経営の在り方についてマネジメントの方向性を探究する</p> <p>【学習の内容】 生きる力 日本の学級集団の特性 学級集団アセスメントに基づいた対応 学級集団の状態 教師の指導行動</p> <p>【キーワード】 生きる力 日本の学級集団の特性 学級集団アセスメントに基づいた対応 学級集団の状態 教師の指導行動</p> <p>【学習の課題】 学級経営の課題を抽出し、自己の学級経営の方向を論述する</p> <p>【参考文献】 河村茂雄『日本の学級集団の学級経営』</p> <p>【学習する上での留意点】 授業を評価する</p>	